

2020 年度人文学部 FD 活動方針・計画（キリスト教学科、人類文化学科、心理人間学科、日本文化学科）

まず、学部レベルとしては、カリキュラム委員会を中心として 2019 年度末に実施した卒業生アンケート調査の分析を行い、人文学部のカリキュラム・ポリシーとの整合性の検証、2017 年度から開始されたクォータ制に伴う授業運営の問題点と改善策の検討を引き続いて行っていく。また、学部共通科目群については、2019 年度末に学部 FD 企画として実施したシンポジウムの成果をも利用しつつ、「人文学部異文化研修短期留学プログラム」について、より参加者を増やし、効率的な運営方法を検討していく。ただし、2020 年度については新型コロナウイルスの影響により、予定通りの運営が困難だと思われる。今年度のように予定通りの運営が難しい場合に、どのように代替の効果がある教育を提供するか、今後のためにも考えておく必要がある。

新型コロナウイルスの影響により今年度は開講が遅れ、また開講後の授業についても通常の運営が不可能になったが、本学部でもこのような事態は想定していなかったことは否めない。今後このようなことが起こった時のために、オンライン授業への対応、通信教育的な手段による教育など、今年度のような事態に対応できるような準備をしておく必要がある。今年度当初の授業はオンラインで行うことになったので、その中で経験したさまざまな問題点と方策を記憶し、今後のために整理・記録しておく必要がある。

学部では毎年さまざまな内容の FD 企画を行い、教員の教育能力の向上に努めてきており、その成果は着実に上がっているものと期待される。しかしながらそれを検証することは行っておらず、実際にどのように成果が上がっているのかは確かめられていない。そこで、過去の FD 企画について教員にアンケートを実施し、従来の FD 企画の成果を検証すると共に、今後どのような企画が必要なのかを考えていく。

また、カリキュラム改定に向け、学部共通科目の再編成について議論を進めつつ、各学科間のカリキュラムの調整を行いたい。

学科レベルでは、学科ごとに次のような計画を実施する予定である。

キリスト教学科は日常的な取組みに加えて、とくに次の二点に重点をおく方針である。(1) 授業運営や授業手法などに関する教員どうしの情報共有の機会をさらに充実させる。(2) 学科会議や FD 懇談会の場で学科の理念やポリシーを再確認しながら、よりよいカリキュラムをめざして具体的な変更点や改善点を検討する。

人類文化学科では、学科卒業生を対象として昨年度に実施したアンケートの分析を行い、昨年度に改正した学科のカリキュラム・ポリシーとの整合性を改めて検証するとともに、学科カリキュラム開発の一環として学科科目の見直し作業を進めていく。また、これまで行っ

てきた学科の「自己点検・評価委員会」を「FD委員会」と改称して、自己点検・評価活動のみならず、大学の理念・目標を理解するワークショップや教育と研究の調和を図るシステムと学内（学科内）組織の構築などにも資する場とする。

心理人間学科は、①多様な機会をとらえて学生の情報、授業の情報を共有するよう努めることを基本に、現在は②公認心理師受験資格対応のカリキュラムを計画通りに進めること、③新入生、卒業生、オープンキャンパス参加者を対象とした学科教育にかかる調査活動を行うことに注力している。さらに2019年度に策定した、学生の計画的な履修に対する学科としての指針に沿った学生指導を進めること、および授業外での学習を奨励することも継続していく。

近年は、公認心理師受験資格対応のカリキュラム導入や、新しい指針の導入などが続いてきた。それゆえ2020年度は、これら新しく導入した仕組みが学生の学習に有益に作用しているのか否かについて検討することに重点を置きたい。学生の学習に対する影響、成果については、定量的、定性的把握の別にとどまらず、主観的、客観的等、多側面からのアプローチの可能性なども学科で検討し、今後のFD活動に資する情報を得ることを目指したい。

日本文化学科では、例年行っている卒業生に対するカリキュラム調査などを参考にしつつ、より一層のカリキュラムの充実を継続して話し合っていく予定である。また、学生への指導に際しては、従来と同様に学科内における情報の共有を怠ることなく、細やかな対応に努めることとしたい。毎年年度末に行うFD企画については、学科内での教育システムの向上に実質的な効果があるよう、毎年工夫をこらしたさまざまなテーマで行っているが、本年度も衆知を集めて有意義なものを開催したい。また、昨年度から演習単位が減ったが、それがどのような影響を学生の教育に及ぼすのか、慎重に調査し、もし弊害が生じているようであれば対応策を考えたい。さらに、昨年度から始めた卒論発表会のより教育効果の高いあり方を模索していきたい。また、卒業研究の評価について、どのようなあり方が最もよいのか、議論を深めていきたい。本年度の特別な事情として、新型コロナウイルスの問題により、例年行っている一泊のオリエンテーション行事を中止せざるを得ない。学生が大学生活を円滑に始められるように、例年以上に留意していきたいと考えている。